

地域ケア専門職を対象とした住民サポーター養成オンライン研修

一般社団法人北海道社会福祉活動事務所

1. 趣 旨

このたび当事務所は、研修部門まちラボ SAPPORO を企画主体として公益財団法人日本社会福祉弘済会の2021年度助成を受けて標記の研修を実施することになりました。目的は、地域包括支援センターおよび社会福祉協議会職員を対象として、地域包括ケアシステムを支える住民サポーター養成研修をどのように取り組むとよいかを中心テーマとするオンライン研修です。

これまで生活支援コーディネーターとして、社会福祉協議会職員あるいは地域包括支援センターに関わる職員が配置され、地域コミュニティにおける生活支援に関わる担い手養成が期待されています。しかし、有償ボランティアのような仕組みも容易ではなく、各地の関係者は苦慮しているのが実態です。そこで私どもの企画で、住民目線の活動支援に経験豊富な講師の方々をお願いして、具体的な取り組みや考え方を紹介いただき、参加者の皆さまには地域における今後の研修企画に結びつけていただければ幸いです。

2. 募集要項

- (1) 開催日 2021年8月18日(水)、27日(金)、9月1日(水)、8日(水)
いずれも16:00~17:00 (ただし9月8日は18:00まで)
- (2) 研修方法 ウェビナー (zoom) で行います。
環境が整わない方は「市民活動プラザ星園 (中会議室)」で受講できます。
【札幌市中央区南8条西2丁目5-74】(10人程度まで)
- (3) 募集定員 100名程度
※会場に関しては新型コロナウイルス感染予防対策を講じて行います。
- (4) 受講対象 ①地域包括支援センター職員 ②自治体職員 ③社会福祉協議会職員
④その他社会福祉法人・医療法人・NPO・等住民サポーター養成に関わりのある方等
- (5) 受講料 無料
- (6) 研修資料について
希望者には振込確認後(資料代:3000円)、8月中旬以降に逐次郵送いたします。
- (7) 受講申込方法 別紙用紙に必要事項を記入の上、メール・郵送にてお申し込みください。
- (8) 申込締切日 2021年8月6日(金) (先着順にメール等で確認通知予定)

問い合わせ先

一般社団法人北海道社会福祉活動事務所・まちラボ SAPPORO

「住民サポーター養成オンライン研修」

〒064-0806 北海道札幌市中央区南6条西11丁目1285-1-2F

E-mail : info.mlsapporo@gmail.com

(別紙)

研修プログラム

地域ケア専門職を対象とした住民サポーター養成オンライン研修

企画・運営 まちラボ SAPPORO

講師・講義テーマ

①8月18日(水) 16:00~17:00 (オリエンテーション 16:00~、講義は 16:15~)

群馬県高崎市第1層生活支援コーディネーター

公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー 目崎 智恵子氏

テーマ「地域の担い手づくり~高崎市の取り組み」

②8月27日(金) 16:00~17:00 (講義は 16:05~)

NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘氏

テーマ「支え合いを成功させるための研修マネジメント」

③9月1日(水) 16:00~17:00 (講義は 16:05~)

社会福祉法人 池田町社会福祉協議会 事務局長 佐藤 智彦氏

テーマ「高齢者が担う生活支援へ=LOREN 支えあいパートナー」

④9月8日(水) 16:00~17:00 (講義は 16:05~)

関西学院大学人間福祉学部 教授 藤井 博志氏

テーマ「住民主体の地域支え合いの仕組み作りの決め手」

⑤9月8日(水) 16:50~17:50 (開始は 17:00~)

総括座談会「支え合いのまちづくりへ」

モデレーター 北星学園大学名誉教授 杉岡直人

ゲスト 第1回~第4回の講師陣(目崎 智恵子・池田 昌弘・佐藤 智彦・藤井 博志)

<講師の方はご都合つけて頂ける方にお願ひします>

まちラボ SAPPORO は一般社団法人北海道社会福祉活動事務所の研修事業を連携・担当しています。(まちラボ SAPPORO スタッフ 杉岡直人(代表)、大島康雄(星槎道都大学准教授)

畠山明子(星槎道都大学専任講師) 他)

講師関係情報

目崎 智恵子・自己紹介

群馬県高崎市第1層生活支援コーディネーター。認定NPO法人の本部事務局で、9年間インフォーマル事業担当し、共生常設型居場所・配食サービス・助け合い活動等の立ち上げに携わり、専門職と連携し、様々な困りごとの解決に取り組んできた。2015年に高崎市生活支援体制整備事業に参画。2016年4月から同市第1層生活支援コーディネーター。2019年5月より(公財)さわやか福祉財団新地域支援事業担当リーダーとしても活動中

講義概要

地域の困りごとをお互いさまで支え合うために、住民はどんなことを大切にして支え合いをすすめているのか。地域ごとの担い手の見つけ方と担い手養成講座の内容。そして具体的な助け合い活動の実践事例や、地域型包括支援センターとの連携について。前職のNPO活動で携わった生活支援の担い手づくりと活動事例について紹介。

池田 昌弘・自己紹介

全国コミュニティライフサポートセンター理事長。社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会、社会福祉法人東北福祉会「せんだんの杜」副社長（特別養護老人ホームなどの施設長を併任）を経て、2005（平成17）年7月から現職。近年は日常の暮らしのなかにある住民同士の支え合いを「地域のお宝」とし、制度やサービスを上手に活用しつつお宝を生かす地域づくりを推進。

【講義概要】

地域のつながりの希薄化が叫ばれて久しいが、そうしたなかでも、誰かとつながり、気にかけて、支え合うといった関係で、暮らしを豊かにしている人や地域がある。この関係を発見し、見える化・見せる化をとおしてそれを皆で共有しながら、支え合う地域づくりを進める実践を通じて、学び合う。

佐藤智彦・自己紹介

池田町社会福祉協議会事務局長。淑徳大学社会福祉学部卒業後、社会福祉法人 至誠学舎東京高齢者介護相談センター・サンメール尚和に勤務。1994年9月社会福祉法人 池田町社会福祉協議会職員となり、2017年4月同事務局長。社会福祉士・介護支援専門員 20013,14年北海道介護支援専門員実務研修講師。2015～17年北海道生活支援コーディネーター養成研修講師を務める。

講義概要

人口減少と高齢化の課題は、「人と人」「人と場所」をつなげ元気な高齢者を生み続ける事で緩和できると考え社会福祉協議会の実践活動を展開。元気な時からボランティア活動や趣味活動を通じて町に出かけ、様々な人が普段から「つきあう」きっかけと場を提供。「担い手をつくる」のではなく「普段のつきあいが自然に助け合いへ 変わる」視点がポイントとなることを紹介。

藤井博志・自己紹介

関西学院大学 人間福祉学部教授。大阪市生まれ。同志社大学文学部、同大学院社会福祉学研究科修了。兵庫県社会福祉協議会勤務後、大阪府立大学、神戸学院大学の教員を経て 2017 年より現職。博士（社会福祉学）・社会福祉士。【専門分野】地域福祉論・コミュニティワーク・地域福祉計画。市民・住民の地域福祉活動／コミュニティワーカー養成／地域ケアシステム、地域福祉計画に関する研究等に従事。アクションリサーチ、フィールドワークを方法として、現場と実践開発を行う実践研究。

講義概要

住民主体と小地域福祉活動の基本的・原則的な考え方を解説しつつ、現代の多様な地域づくりを紹介する。その中でも、地域づくりの基盤となる見守り、支え合いの考え方とその要件について解説する。さらに、そのような住民活動への専門職（とくに地域づくりと個別支援の二種の福祉専門職）の支援と協働の考え方を他の講師の講義を含めて解説する。

杉岡直人・まちラボ SAPPORO 代表

北海道大学大学院修了後 1978 年社会学研究室助手を経て、北星学園大学に就職、社会福祉学部学部長・大学院研究科長、北海道地方社会保険医療協議会会長、日本社会福祉学会・日本地域福祉学会理事等を歴任、現在名誉教授として、執筆・講演・地域包括ケア事業コンサルティングに従事。これまで地域包括ケア関連の委員会代表として各地で講演をおこない、『まちづくりの福祉社会学』（Kindle）を発行したほか、論文・著書多数。

<http://www.sugioka-lab.com/>